

# 3 いのちを守る

**828億円** (対前年 ▲7億円)

- 大規模災害に備えて、県民への情報発信力やインフラ・病院等の防災力の強化が急務
 

国の「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」に基づき、3年で3兆円程度（事業規模概ね7兆円程度）の予算が臨時・特別に措置されたことを踏まえ、本県の国土強靱化を強力に推進
- 県内どこに住んでいても必要な医療が受けられる体制や、多様なニーズに対応する医療が必要
- 刑法犯認知件数は減少を続けているが、犯罪撲滅に向けさらなる対策が必要

## 県民の安全・安心を確保するため、災害・病気・犯罪から命を守る取組を推進

<p><b>自然災害への備え</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>729.3億円</b> (対前年▲13.0億円)</p> <p>①減 大規模建築物耐震化 (▲25.2億円)</p> <div style="border: 1px dashed orange; padding: 5px; margin-top: 10px;">                 「防災・減災、国土強靱化」対策として                  ②補正予算：106億円             </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 地震・津波や風水害対策の着実な実行 (P37~41)</li> <li>2 河川水位情報や土砂災害危険度情報を「和歌山県防災ナビアプリ」でリアルタイムに表示 (P36)</li> <li>3 災害時の病院診療情報の提供や病院の災害対策を推進 (P42)</li> </ol>
<p><b>医療の充実と健康の維持</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>30.1億円</b> (対前年▲0.3億円)</p> <p>①減 看護専門学校耐震整備完了 (▲1.0億円)</p> <p>②増 県立医大屋上ヘリポート照明設置 (+0.2億円)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>4 救急医療体制の拡充やニーズに対応したがん対策を推進 (P45、P46)</li> <li>5 企業・団体と連携を深めて健康づくりの県民運動を強化 (P47)</li> </ol>
<p><b>治安・交通安全の向上</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>68.5億円</b> (対前年+6.4億円)</p> <p>③増 県警ヘリコプター機器整備 (+1.3億円)</p> <p>④増 太地町での警戒活動強化 (+0.5億円)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>6 総合的なサイバーセキュリティ対策の強化 (P49)</li> <li>7 飲酒運転を根絶するための取組を強化 (P50)</li> </ol>

## 自然災害への備え

### 1. 「災害による犠牲者ゼロ」の実現

#### ◇台風災害からの早期復旧

19.0億円〔㊟補正25.5億円〕(44.6億円) P35

本県に相次いで接近した平成30年台風第20号、第21号及び第24号により被災された地域や事業者の1日も早い復旧を実現

#### ◇「和歌山県防災ナビ」の機能拡充 50,600 (-) P36

2018年5月に配信開始した「和歌山県防災ナビ」に河川水位情報や土砂災害危険度情報等をリアルタイムで表示する機能を追加

#### ◇建物の倒壊による犠牲者ゼロの推進 182,065 (159,280) P37

建物の倒壊から命を守るため、耐震診断から改修に至るまで全国トップレベルの支援を引き続き実施

#### ◇大規模建築物の耐震化促進 4.2億円 (29.4億円)

ホテル・旅館や病院、老人ホーム等の大規模建築物の耐震化を支援

#### ◇津波から『逃げ切る！』支援対策プログラムの実行

32.8億円〔㊟補正21.7億円〕(55.1億円) P38

津波から住民の命を救い犠牲者をゼロとするため、津波避難困難地域の解消に向けた対策を、概ね10年間(2015年～2024年)で計画的に実施

#### ◇津波災害に備えた地域づくりの推進

26.7億円〔㊟補正21.7億円〕(24.1億円) P39

南海トラフ地震の津波に備え、河川・海岸堤防、港湾・漁港施設の整備を推進するとともに、被災後のまちづくりを想定した復興計画策定を支援

#### ◇わかやま防災力パワーアップ 200,000 (200,000)

避難路の整備や自主防災組織の資機材整備、ブロック塀の安全対策など「避難」、「救助」、「減災」の総合的な防災対策に取り組む市町村を支援

#### ◇総合的な洪水対策の推進

54.0億円〔㊟補正30.3億円〕(53.2億円) P40

集中豪雨や台風による水害等の被害軽減を図るため、県内主要河川の整備や国営総合農地防災事業による対策を推進

#### ◇ため池改修の加速化 11.6億円〔㊟補正2.8億円〕(11.9億円)

大規模地震や集中豪雨によるため池の決壊に備えるため、危険度の高いため池の改修を加速的に実施

#### ◇土砂災害対策の推進

51.3億円〔㊟補正25.3億円〕(49.2億円) P41

土砂災害から県民の命を守るため、ソフト・ハードが一体となった土砂災害対策を推進

### 2. 発災直後の迅速な救助体制と早期復旧体制の確保

#### ◇災害時医療対策の強化 62,960 (-) P42

地震や津波等の災害から県民の命を守るため、災害時の病院機能を見える化するとともに、病院の災害対策を推進

#### ◇防災ヘリコプター等の夜間運航体制強化 21,060 (-) P43

災害時における防災ヘリコプター等の夜間運航体制を強化するため、ヘリポートに照明設備を整備

#### ◇災害時における人工衛星・ドローンの活用 23,376 (-) P44

大規模災害発生時に的確かつ迅速な応急対応を図るため、人工衛星や無人航空機(ドローン)を活用した取組を推進

#### ◇災害に備えた道路網の強靱化

288.3億円〔㊟補正101.7億円〕(300.0億円)

代替性を確保した道路ネットワークを形成するため、高速道路や県内主要幹線道路、緊急輸送道路等の整備を推進

# 3 いのちを守る

◇新規・拡充  
◇継続

・金額単位のないものは千円単位  
・( )内は昨年度当初予算額

## 医療の充実と健康の維持

### 1. 命を守る医療の充実

#### ◇医療の充実 698,369 (679,288) P45

救急医療体制の堅持や遠隔医療の推進を図るとともに、医師の地域偏在や特定診療科における医師不足等を解消するための取組を強化

#### ◇がん対策の推進 238,052 (238,973)

がんの早期発見・早期治療のため、受診勧奨や啓発により、がん検診の受診率向上を促進

#### ◇若年がん患者への支援 4,064 (-) P46

若年がん患者特有のニーズに対応し、患者自らの希望に沿った生き方ができるよう支援

### 2. 医療提供体制の再編・充実

#### ◇病床の再編整備 599,941 (603,080)

高度急性期・急性期から回復期、慢性期、在宅医療に至るまで病状に応じた適切な医療を将来にわたって提供できるよう、病床再編を推進

### 3. 医療人材の育成・確保

#### ◇高等教育機関の充実【再掲】 30.4億円 (4.4億円)

和歌山県立医科大学薬学部(2021年4月開設予定)及び宝塚医療大学和歌山保健医療学部(仮称)(2020年4月開設予定)の開設に向けた取組を推進

### 4. 健康づくりの推進

#### ◇健康長寿わかやま県民運動推進【再掲】 8,000 (13,199) P47

「健康長寿日本一わかやま」を実現するため、関係機関が連携して効果的に施策を実施することで健康づくりを強力に推進

#### ◇総合的な依存症対策の推進 11,214 (-) P54

ギャンブルやスマホなど様々な依存症に対して、関係機関が連携し、学校での予防教育や相談・医療・回復支援などの対策を総合的に推進

#### ◇総合的な自殺対策の推進 87,519 (83,143) P48

自殺の未然防止を図るため、電話相談窓口を24時間化し、SNSによる相談を実施するとともに、自殺未遂者に対する支援体制構築などの取組を推進

## 安全な社会の実現

### 1. 治安・交通安全の向上

#### ◇総合的なサイバーセキュリティ対策の強化 17,529 (8,529) P49

サイバー空間における安全・安心確保のため、解析体制の高度化を図るとともに、サイバー捜査及び情報通信技術に従事する高度サイバー人材の育成を推進

#### ◇青少年の自撮り画像被害防止対策 404 (-)

青少年に対する自撮り画像(児童ポルノ相当)の要求行為を禁止するため、条例の一部を改正

#### ◇飲酒運転等悪質運転者対策の強化 16,336 (-) P50

飲酒運転等の悪質違反を根絶するため、罰則付き条例を制定するとともに、取締体制の強化や資機材を整備

#### ◇自転車の安全利用促進 1,540 (835)

自転車の利用者や保護者、自転車貸付業者などに自転車損害賠償保険等に加入する努力義務を課す条例を制定

#### ◇途切れない犯罪被害者等支援強化 9,232 (4,693)

犯罪被害者等への支援をさらに充実させ、犯罪被害者等の被害の早期回復と軽減を図るための具体的施策を定めた条例を制定

#### ◇太地町における警戒活動強化 48,347 (748)

イルカ漁に対する抗議活動に対応するため、現地活動拠点を移転するとともに、資機材を充実するなど体制を強化

#### ◇歩道整備の加速化 25.1億円 (24.3億円)

歩行者の安全な通行を確保するため、利用状況や周辺環境に応じた整備手法を用いて、通学路など生活道路の歩道整備を加速化

## 台風災害からの早期復旧

平成31年度 : 19.0億円  
平成30年度補正 : 25.5億円  
(44.6億円)

### 相次いで接近した台風により被災された地域や事業者の1日も早い復旧を実現

#### 平成30年台風第20号

- 田辺市本宮町川湯地区で紀伊半島大水害(平成23年)を超える大規模な浸水被害



#### 平成30年台風第21号

- 暴風、高波浪等により護岸施設が倒壊
- 広範囲の停電や長期間の通信障害が発生



#### 平成30年台風第24号

- 串本町や白浜町で過去最高潮位を記録



- ▶ 人的被害 : 死者1名、重傷者5名
- ▶ 物的被害 : 全壊7棟、半壊14棟、浸水被害など合わせて2,000棟超
- ▶ 公共土木施設被害 : 道路70件、河川・砂防169件、港湾・海岸・漁港29件
- ▶ 農地・農業用施設 : 130件、林道 : 65件
- ▶ 農林水産業、中小企業、文化財の被害も多数発生

**公共土木施設の迅速な本格復旧を実施**  
**被災された農林漁業者、商工関係事業者の復旧・事業継続を支援**

## 「和歌山県防災ナビ」の機能拡充

平成31年度：50,600千円 **新規**

「和歌山県防災ナビ」に河川水位情報や土砂災害危険度情報等をリアルタイムで表示する機能を追加

県独自の『和歌山県防災ナビ』アプリ配信サービス 平成30年5月29日配信開始

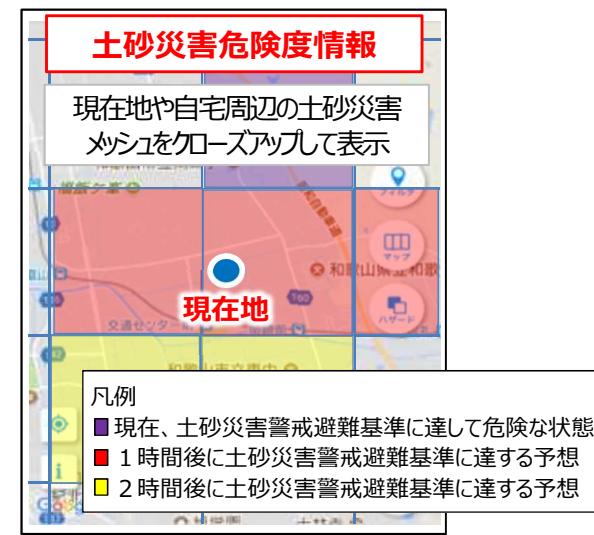
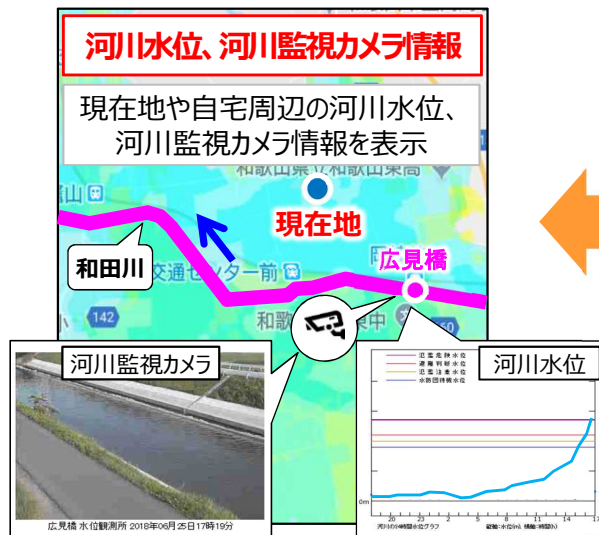
- ① 避難場所とそのルートを簡単に検索
- ② 気象警報や避難勧告など防災情報を自動配信
- ③ 家族が避難した場所を地図上で確認可能
- ④ 避難トレーニング機能を搭載



防災ナビアプリ  
QRコード

### 機能追加

現在地周辺の河川水位情報や土砂災害危険度情報等を表示



## 建物の倒壊による犠牲者ゼロの推進

平成31年度：182,065千円  
 (159,280千円)

建物の倒壊から命を守るため、耐震診断から改修に至るまで全国トップレベルの支援を引き続き実施

### 1 住宅の耐震化

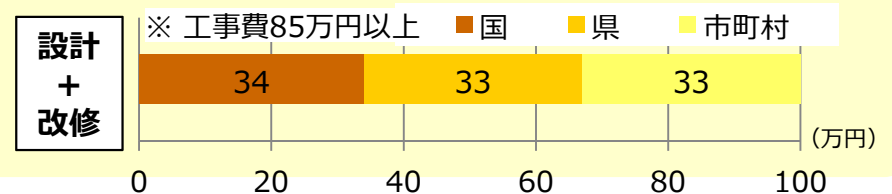
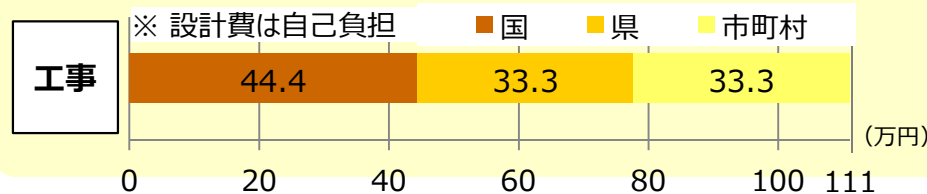
#### ■ 耐震診断

- ①平成12年5月以前に建築された“木造住宅” ⇒ 自己負担なし
- ②昭和56年5月以前に建築された“非木造住宅” ⇒ 診断費の2/3、最大8万9千円を補助

#### ■ 補強設計・改修 ▶ 設計と工事を一体的に支援（最大116万6千円を補助）

① 工事費のみなら111万円まで自己負担0円！

② 設計+工事100万円までは自己負担0円！



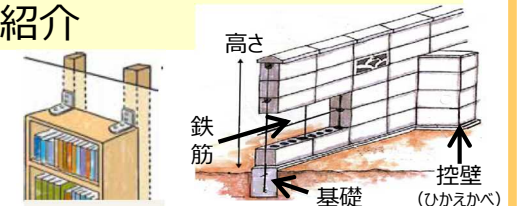
### 2 耐震ベッド・耐震シェルター

- »設置費用の2/3、最大26万6千円を補助
- ※高齢者、障害のある人の居住住宅を優先



### 3 家具固定・ブロック塀安全対策

- »家具固定施工業者、ブロック塀改修等に関する相談員をHP等で紹介



# 津波から『逃げ切る！』支援対策プログラムの実行

平成31年度 : 32.8億円  
平成30年度補正 : 21.7億円  
(55.1億円)

## 津波から住民の命を救い、犠牲者をゼロとする

**現状** 南海トラフの震源域に近く、津波到達までの時間が短いため、津波避難困難地域が存在  
徹底した調査・分析

### ● 東海・東南海・南海 3 連動地震

**想定** 死者数：約1万9千人  
津波避難困難地域：4町22地区  
(避難困難者数：約4,000人)

### ● 南海トラフ巨大地震

**想定** 死者数：約9万人  
津波避難困難地域：12市町61地区  
(避難困難者数：約22,700人)

**共通**

河川・海岸、港湾・漁港の堤防強化  
概ね10年間（2015年～2024年）で対策を計画的に実施

**対策**

計画策定済み  
(避難路、津波避難タワーの整備等)  
10年間220億円で対策を実行

**13地区で既に解消**

**対策**

市町協議会で具体的対策を  
検討し早期に実行

高台移転や複合避難ビル等の整備など地域改造も含めた検討が必要

**4地区で既に解消**

**2024年度までに全ての津波避難困難地域を解消**

# 津波災害に備えた地域づくりの推進

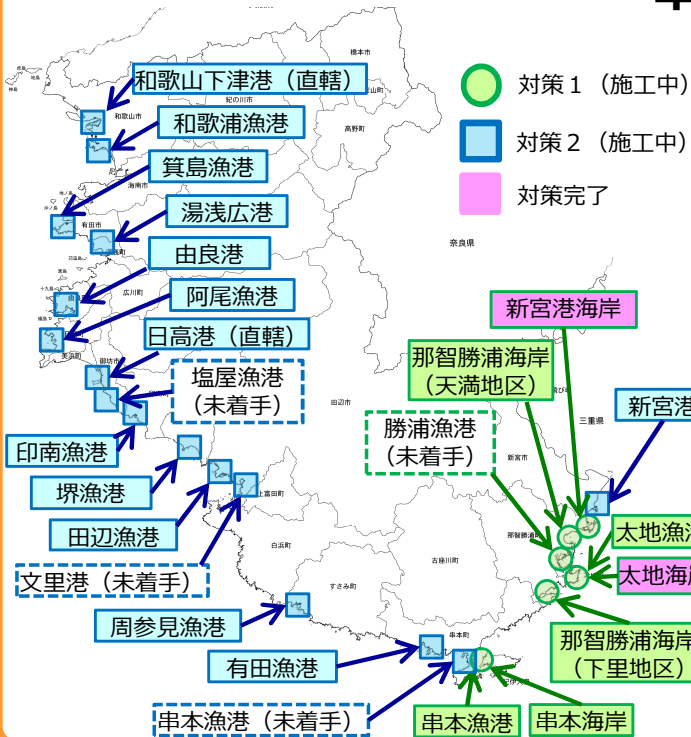
平成31年度 : 26.7億円  
 平成30年度補正 : 21.7億円  
 (24.1億円)

南海トラフ地震による津波に備え、河川・海岸堤防、港湾・漁港施設の整備を推進するとともに、被災後のまちづくりを想定した復興計画の事前策定を支援

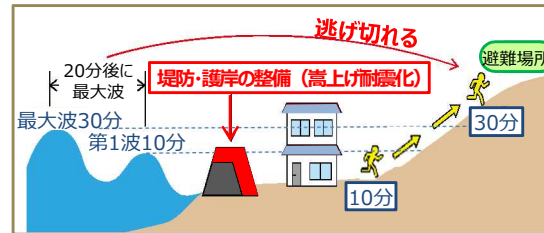
## 津波から“逃げ切る”ための堤防等の整備

**対策1** 津波避難困難地域を解消し、犠牲者ゼロをめざす

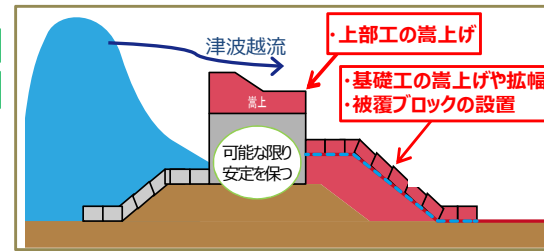
**対策2** 地域経済の拠点となる施設を強化して  
 早期の復旧復興につなげる



<対策1の整備イメージ>



<対策2の整備イメージ>



## 津波災害復興計画の事前策定

被災したまちや  
 地域の復旧・復興が遅れると

- ・県民が再建する気力を喪失、企業活動の停止
- ・県内外への移転などにより地域経済が停滞、地域活力が喪失

»被災を想定した復興計画・体制等の準備に着手することが必要

津波災害を受ける沿岸全ての市町  
 (19市町) の計画策定を支援



## 総合的な洪水対策の推進

平成31年度 : 54.0億円  
 平成30年度補正 : 30.3億円  
 (53.2億円)

集中豪雨や台風による水害等の被害軽減を図るため、県内主要河川の整備や  
 国営総合農地防災事業による対策を推進

### 県内主要河川の整備推進

- 1 平成22年度以降、9年連続で予算を増額して  
 対策を強化 (平成31年度は約48億円)
- 2 県全域で48河川の浸水対策を実施

主要河川の整備状況

七瀬川(和歌山市)



佐野川(新宮市)



河川整備計画の策定状況



### 国営総合農地防災事業「和歌山平野地区」 による農地湛水被害対策の推進

- 1 事業工期 : 2014年度～2028年度
- 2 総事業費 : 456億円
- 3 受益面積 : 4,306ha
- 4 平成31年度県負担金 : 約5.6億円



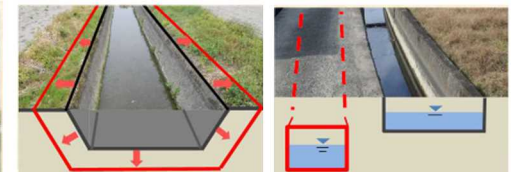
排水機能を向上

排水機の改修



ポンプを性能の高いものに整備

水路の整備イメージ



水路の拡幅や、道路の下に新たな水路の埋設

## 土砂災害対策の推進

平成31年度 : 51.3億円  
平成30年度補正 : 25.3億円  
(49.2億円)

### 土砂災害から県民の命を守るため、ソフト・ハードが一体となった土砂災害対策を推進

#### 1 土砂災害警戒区域等の早期指定

**現状** 県内の土砂災害危険箇所数 約18,500箇所 (全国第6位)  
区域指定の状況 14,677箇所  
(うち特別警戒区域13,072箇所) (2018年12月末)

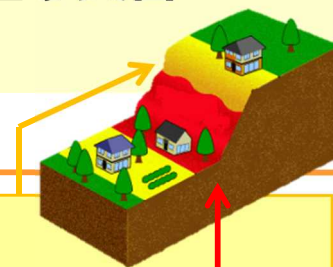
**目標** **2019年度までに基礎調査を完了**  
**2020年度までに区域指定完了をめざす**

#### 土砂災害警戒区域

[土砂災害のおそれのある区域]  
・警戒避難体制の整備、ハザードマップの作成

#### 土砂災害特別警戒区域

[建物が破壊され、住民に大きな被害が生じるおそれのある区域]  
・特定の開発行為に対する許可制  
・建築物の構造規制・建築物の移転等の勧告



#### 2 砂防関係施設の整備推進

- ・防災拠点等の予防保全箇所を計画的に整備  
湯ノ谷(北山村)、日足2地区(新宮市) など
- ・災害発生箇所等を緊急的に整備  
梅本川(紀美野町)、上古沢地区(九度山町) など

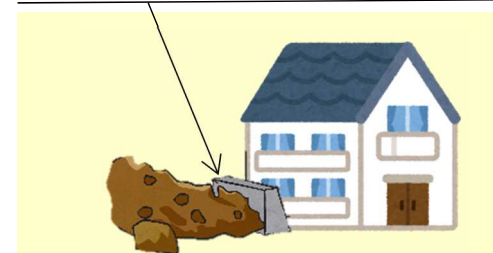


#### 3 研究開発や啓発の推進

- (県) 和歌山県土砂災害啓発センター  
研究成果を活用した研修会や地域講演会等を開催
- (国) 大規模土砂災害対策技術センター  
大規模土砂災害に係る建設技術の研究等を推進

#### 4 土砂災害特別警戒区域内の住宅改修支援 **新規**

- ・土砂等に対応するための**外壁改修や塀の設置を支援**
- ・補助額 最大75万9千円 (工事費の23%)  
対策工事の例  
鉄筋コンクリート造の防護壁の設置



## 災害時医療対策の強化

平成31年度：62,960千円 **新規**

地震や津波等の災害から県民の命を守るため、災害時の病院機能を見える化するとともに、病院の災害対策を推進

### 新規 災害時病院情報見える化

災害時には多数の患者や建物被害等により、診療ができなくなるのが想定されるが、県民がその情報を知ることは困難

わかやま医療情報ネットを改修し  
災害時の診療可否情報を県民に案内



お知らせ  
緊急 ○月○日 和歌山県で地震が発生しました  
○月○日 ○時現在 受診可能な病院はこちら



(イメージ)



この医療機関は現在 **受診可能です**

医療機関	○○病院
住所	和歌山市○○
電話番号	073-○○○-○○○
最終更新	2019年○月○日 午前7時30分

#### 医療機関からの連絡

人工透析が必要な患者を優先的に診療  
詳細は病院へお問い合わせ下さい

### 病院の災害対策強化

新規 非常用電源の整備支援 (基準額の1/2を補助)

災害時の停電に備え、災害拠点病院等の電力を強化

- ① 自家発電設備整備    ② 可搬式自家発電機購入    ③ 非常電源用配線改修



病院施設全体の  
電力向上を図る



災害時に必要な  
医療機器を稼働させる



臨時の救護リア(玄関前)  
などで医療機器を稼働させる

病院BCP<sup>※</sup>策定支援    ※事業継続計画

災害が発生すると...

・病院の医療供給力は低下  
・患者は急増し、医療需要は増加 → 「需給ギャップ」が生まれる

研修会等によるBCP策定支援

病院の事前対策と発災後の医療対応を強化

# 防災ヘリコプター等の夜間運航体制強化

平成31年度：21,060千円 **新規**

災害時における防災ヘリコプター等の夜間運航体制を強化するため、ヘリポートに照明設備を整備

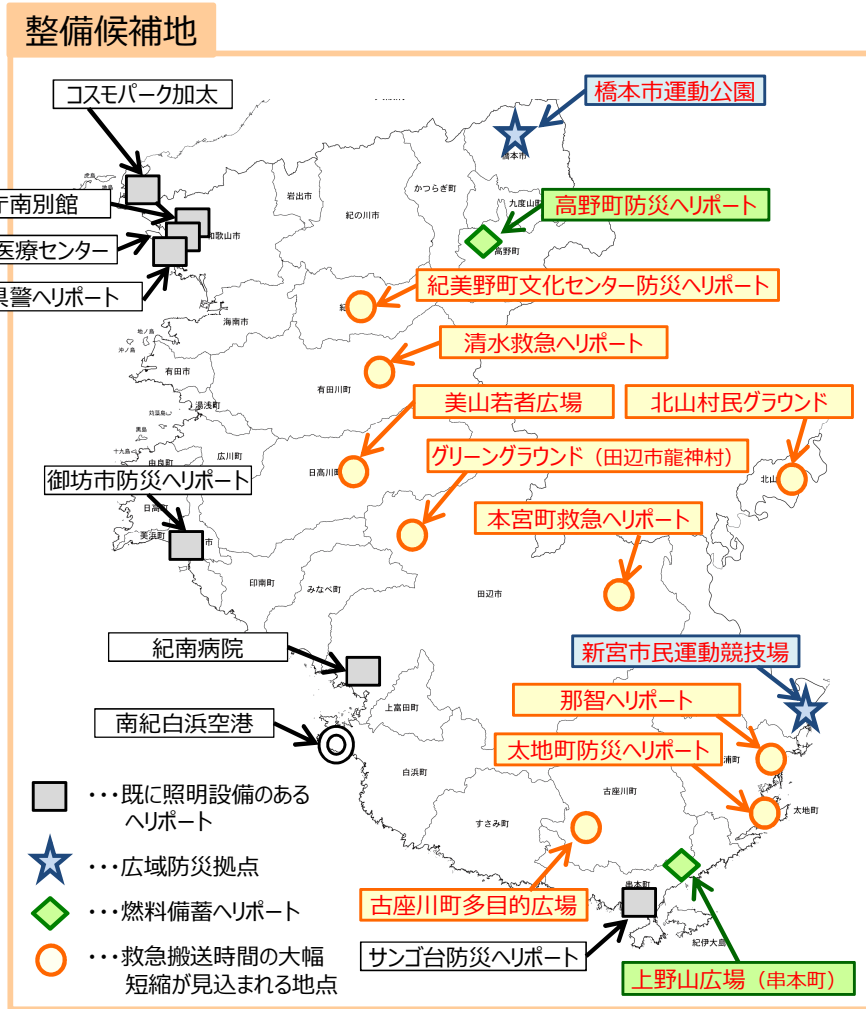
## 現状

▶ 夜間照明設備があるヘリポートは4市町7カ所と少なく、大規模災害時のヘリコプター夜間運航体制が脆弱

## 新たな取組

▶ 12市町村13カ所へ可搬型照明を設置

整備候補地	整備数
広域防災拠点	2
燃料備蓄ヘリポート	2
救急搬送時間の大幅短縮が見込まれる地点	9
計	13



## 大規模災害時の防災体制及び救急搬送体制を充実

※上記に加えて、県立医科大学附属病院屋上ヘリポートに常設照明を整備中

ひと  
くらし  
いのち  
地域

## 災害時における人工衛星・ドローンの活用

平成31年度：23,376千円 **新規**

大規模災害発生時に的確かつ迅速な応急対応を図るため、人工衛星や無人航空機（ドローン）を活用した取組を推進

### 1 被災状況把握体制の強化

① 民間人工衛星の画像を活用し、  
県全体の被災状況を把握



- ・土砂崩れや浸水等の情報を一括して入手可能
- ・撮影後4～12時間程度で入手可能

詳細

② 情報収集用ドローンを活用し、  
局所的で詳細な状況を把握



- ・現在9機保有 ⇒ H31年度5機追加導入
- ・危険で行くことができない箇所の調査体制を確保
- ・目視外飛行※において安定した操縦・撮影ができる職員を育成

※ 目で機体を確認できない状況においても、安定した離陸、着陸、空撮等を行うこと。  
航空法により国土交通大臣の承認が必要。

### 2 救援・救助活動の強化

救助用装備資機材を積載可能かつ、悪天候でも運用可能な**全天候型ドローン**を導入

- ・衛星携帯電話や救命具を運搬可能
- ・強風、防水対応



## 医療の充実

平成31年度：698,369千円  
(679,288千円)

救急医療体制の堅持や遠隔医療の推進を図るとともに、医師の地域偏在や特定診療科における医師不足等を解消するための取組を強化

### 医療体制の堅持・拡充

#### ■ 救急医療体制の堅持

救命救急センター・ドクターヘリなど救急医療体制の充実

**新規** ドクターヘリの運航時間延長のため、  
県立医大屋上ヘリポートへの照明設備設置



#### ■ 遠隔医療推進

全県的に展開

##### ① 遠隔カンファレンス

テレビ会議システムにより、へき地での医療体制を充実

##### ② 遠隔救急支援システム

モバイル端末を活用し、医療機関間の連携を強化



### 医療人材の育成・確保

#### ■ 医学部入学定員の確保

- ・ 県立医科大学 (H19:60名→H22以降:100名)
- ・ 近畿大学 (H22:5名→H24以降:10名)  
(和歌山県地域枠)

#### ■ 医師不足診療科の医師確保

- ・ 県外から赴任した医師に研究資金貸与 (産科・精神科)
- ・ 県内病院で専門研修を受ける若手医師に研修資金貸与 (産科・小児科・精神科・救急科)

#### ■ 看護職・リハビリ職・薬剤師の育成

- ・ 東京医療保健大学 和歌山看護学部  
(2018年4月開設)
- ・ 宝塚医療大学和歌山保健医療学部(仮称)  
(2020年4月開設予定)
- ・ 和歌山県立医科大学薬学部  
(2021年4月開設予定)

県内どこに住んでいても必要な医療を受けられる体制を構築

## 若年がん患者への支援

平成31年度：4,064千円 **新規**

若年がん患者特有のニーズに対応し、患者自らの希望に沿った生き方ができるよう支援

### 妊孕性<sup>にんようせい</sup>※ 温存支援

若年がん患者が、がん治療前に、生殖機能を温存することで、将来、子供を産み育てる希望を持ってがん治療に取り組むことができるよう支援

医療従事者

- ・がん治療医と生殖医療医の連携ネットワーク構築
- ・看護師など医療従事者への相談支援に関する研修

県民・患者

- ・妊孕性温存について理解を深めるためのフォーラム開催
- ・妊孕性温存費用の一部助成
  - ◇対象：40歳未満の若年がん患者
  - ◇助成額：女性(卵子凍結等)・・・上限 20万円
  - 男性(精子凍結)・・・上限 3万円

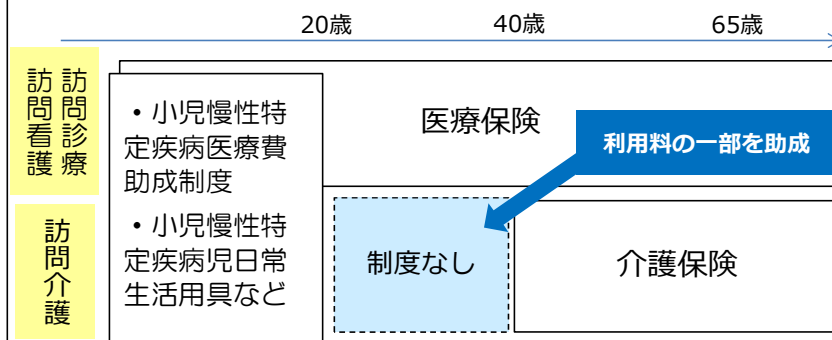


※妊孕性（にんようせい）とは、妊娠する力をいう

### 在宅ターミナルケア支援

在宅での療養を希望する若年末期がん患者に、介護費用等を助成することで、住み慣れた生活の場で安心して過ごせるよう支援

【若年末期がん患者の医療・介護サービス】



【事業内容】

- ◇対象：20～40歳未満のがん末期の在宅療養者で、在宅生活の支援や介護が必要な者
- ◇助成内容
  - ・身体介護(食事、排泄などの介助)等の訪問介護
  - ・福祉用具貸与(車いす、電動ベッド等)
  - ・訪問入浴介護
- ◇助成額：上限6万円/月、9割助成（5万4千円）

## 健康長寿わかやま県民運動推進

平成31年度：8,000千円  
(13,199千円)

「健康長寿日本一わかやま」を実現するため、関係機関が連携して効果的に施策を実施することで健康づくりを強力に推進

### 健康づくり運動ポイント

手軽に楽しみながら運動し、健康づくりを推進できるようWEBサイトやアプリを提供

#### 【自治会】

自治会単位でポイント数を競い、上位自治会を表彰

#### 【個人】

ウォーキングでポイント数を競い、上位者を表彰

スマホアプリ  
配信中!!



Android端末



iPhone端末



一日8,000歩をめざそう!

### 健康教育の推進

- マンガを取り入れた教材を活用し、乳幼児の保護者・小中高生を対象として子供の健康教育を充実



### 拡充 子供のむし歯ゼロ推進

- 妊娠期から学齢期まで、切れ目ない歯科保健指導を展開
- 乳幼児健診等でフッ化物塗布
- 小学校で『フッ化物でお口をブクブク』



### わかやま健康推進事業所の認定

県が協会けんぽ和歌山支部と連携して、従業員の健康づくりに取り組む事業所を認定

- 【認定要件】
- ・健康づくり運動ポイント事業への参加
  - ・受動喫煙防止対策の実施
  - ・がん検診の受診促進など





## 総合的な自殺対策の推進

平成31年度：87,519千円  
(83,143千円)

自殺の未然防止を図るため、電話相談窓口を24時間化し、SNSによる相談を実施するとともに、自殺未遂者に対する支援体制構築などの取組を推進

### 相談体制の強化 **拡充**

H31.1月 運用開始

① **電話相談を**  
**24時間**に拡大



② **SNS**を活用した  
相談の実施



③ **検索連動広告**による  
相談窓口案内

自殺につながる用語検索  
例) 死にたい 自殺の方法

クリックすると相談サイトへ

検索表示画面上部に誘導広告表示

### 自殺未遂者支援体制の構築 **新規**

自殺未遂直後

治療

退院・帰宅後

自殺未遂者

救急搬送

救急医療機関

病院スタッフ等が自殺未遂者や家族と面談し、経緯・病歴・その他の情報を確認

情報提供

保健所

自殺に至った背景の確認  
抱えている問題の整理

連絡・相談

自殺未遂者・家族

支援関係構築

地域の支援機関

・市町村担当課  
・精神科医療機関  
・福祉サービス

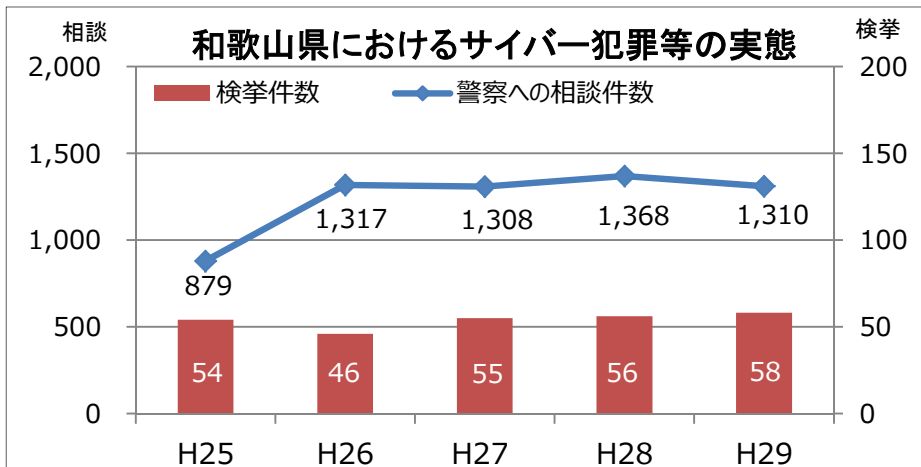
情報提供・支援調整

# 総合的なサイバーセキュリティ対策の強化

平成31年度：17,529千円  
(8,529千円)

サイバー空間における安全・安心確保のため、解析体制の高度化を図るとともに、サイバー捜査及び情報通信技術に従事する高度サイバー人材の育成を推進

- IoTの活用拡大に伴い、サイバー犯罪による攻撃が悪質化かつ巧妙化
- 「インターネットを利用した犯罪」が国民の取締り要望の第1位（治安に関する世論調査【内閣府、平成29年】）



## 解析体制高度化・高度サイバー捜査員養成が必要

### 1 装備・資機材の充実 **拡充**

- ・サイバー人材を育成するための教養機器整備
- ・高度解析機器の増強配備

### 2 高度サイバー人材の育成

- ・総合的な事件指揮、捜査員の指導、育成を行う指揮官の育成
- ・高度な知識を持ったサイバー捜査員を養成

全国トップレベルのサイバー捜査体制の構築をめざす

# 飲酒運転等悪質運転者対策の強化

平成31年度：16,336千円 **新規**

飲酒運転等の悪質違反を根絶するため、罰則付き条例を制定するとともに、取締体制の強化や資機材を整備

## 1. 和歌山県飲酒運転根絶条例(仮称)の制定 **新規**

※平成31年2月議会に上程

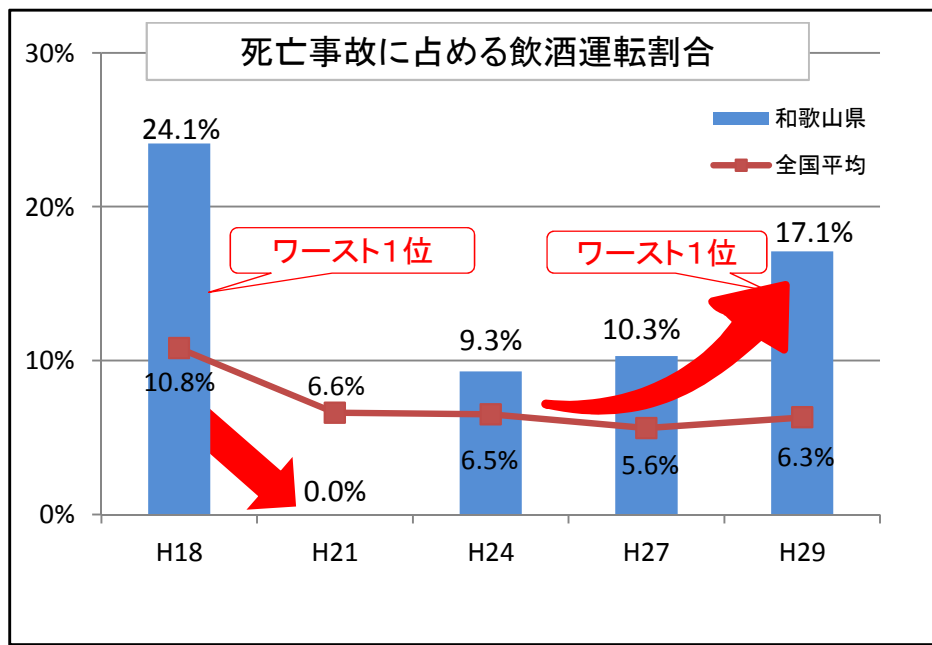
- 県、県民、事業者等の責務を明記
- 違反者（5年以内2度違反）は、アルコール依存症に関する医療機関での受診を義務化（未受診者に過料）
- 飲食業者の飲酒運転防止措置

## 2. 取締体制の強化及び資機材整備 **拡充**

- 飲酒運転等の悪質違反への取締専従班を編成
- 覆面パトカー等の資機材を整備

## 3. 飲酒運転根絶県民運動を展開

- 飲酒運転根絶宣言ステッカーを配布し、飲食店や家庭等で表示
- テレビ・ラジオスポット等での啓発



平成29年の死亡事故に占める飲酒運転割合は17.1%で**全国ワースト1位**

総合的な飲酒運転対策

**安全・安心な和歌山の実現**

ひと

つばと

いのち

くらし

地域